

テンペラ画講座

絵の具作りから学ぶ、西洋絵画の仕組み

講師 ● 小林俊介氏 [山形大学地域教育文化学部
造形芸術コース 准教授]

東京生まれ。筑波大学大学院博士課程芸術学研究科修了。
1997年より山形大学に勤務、現在同大学准教授。VOCA 展
(上野の森美術館、1997、2004)、絵画の行方—現代美術の
美しさって何? (府中市美術館、2005) などに出展。

日程 ● 11月3日、10日、17日、
12月1日 (いずれも土曜日)

時間 ● 午後1時30分～4時30分 (3時間)

会場 ● 鶴岡アートフォーラム アトリエ

対象 ● 鶴岡市に在住、または通勤・通学している方
※一般対象 (高校生以上)

定員 ● 15名 (先着順)

費用 ● 5,000円

持ち物 ● エプロン、空き瓶

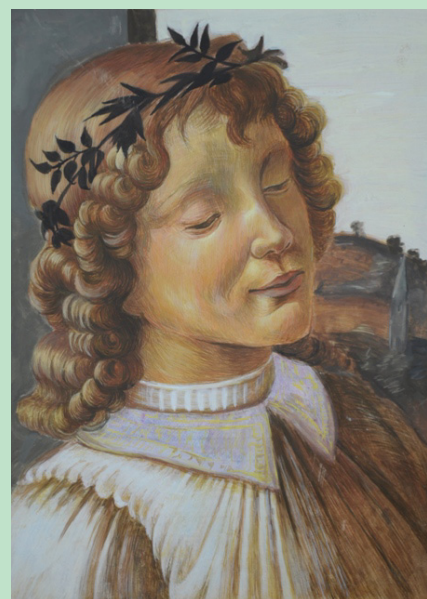
テンペラとは卵を

媒材(接着剤)とした絵の具のことです。

中世からルネサンス期のヨーロッパでは、画家
はテンペラ絵の具を自製して描くのが普通でした。

本講座ではこのヨーロッパ古(いにしえ)の技法
を絵の具作りから体験し、ルネサンス期の画
家たちの作品を模写していきます。

この体験を通して、西洋絵画の技術
や物の見方・とらえ方の基本
を学びます。



〈参考写真〉

第1回 (11月3日)

テンペラ画の技術と歴史について(お話)
白色地塗り
下絵の転写と墨描き

第2回 (11月10日)

テンペラ媒材づくり
インプリマトゥーラ(地透層)の塗布
白色による明暗描写

第3回 (11月17日)

固有色による着彩

第4回 (12月1日)

仕上げ
講座のまとめ(お話)

申込受付

9月19日(水)～10月24日(水)
午前9時30分～午後7時 ※休館日を除く

申込方法

受付で申込用紙に必要事項を記入の上、経費を添えてお申込下さい。
電話での予約もできますが、受付期間内に本申込が必要です。
尚、申込受付は先着順で、定員になり次第締め切ります。

主催

鶴岡アートフォーラム／鶴岡市教育委員会